



## 静岡県警察本部 県警機動隊親子見学 H26年8月7日(木)9:30～11:30

今年の夏は、大雨による土砂災害や水難事故のニュースが多く報道されていました。救助現場で自衛隊や消防の方々と共に、機動隊隊員の方をご覧になった方がいると思います。長田西地区保護司の鈴木須美子様のご協力を得て、丸子の宇津ノ谷トンネルにほど近い県警機動隊を、中学生2名、小学生23名を含む計40名で見学しました。当日、水難事故と不審物の通報による緊急出動要請があり、隊員の方々があわただしく出動していきました。リアルな体験見学会となりました。

初めに、スライドや写真を使い、機動隊の仕事や東日本大震災の救助活動についての説明を聞きました。次に、外でどんな場面で活躍する特殊車両か説明を受けた後、実際に車両に乗せていただきました。また、夏の暑さを忘れるくらいピンと張り詰めた雰囲気の中、柔道・剣道の稽古を見せていただきました。保護司の鈴木様は、『この見学会を通して、誰かのお父さんやお兄さんがこうして働いて静岡県や国の安全を守っている事を知ってもらいたい事と、子供達が将来の夢や仕事を考える機会にしてほしい。』と話してくださいました。隊員の皆様が子供達に、たくさん声をかけて下さったり、質問にも気さくに答えて下さり、貴重な体験と楽しい思い出ができました。

### 【参加者の感想】

- ★機動隊見学とてもいい勉強になりました。爆破処理班や警護隊、スキューバ潜水隊などいろいろ分かれている事がわかりました。見学の日に機動隊出動命令があり、本当に私達の為に動いてくれているのを実感しました。(城山中)
- ★初めて機動隊見学をさせていただきました。今回、ビデオや写真で機動隊の活動について、詳しく勉強させていただきました。人の為に、命懸けで仕事をされている姿、地道な作業をしている姿、鍛錬を怠らない姿に感銘を受けました。テレビなどでしか見ることができない特殊車両等も間近で見学し、また隊員の方から機動隊について詳しいお話も聞けて貴重な体験ができました。今回息子は参加できませんでしたが、また機会があれば是非参加させたいと思います。(長田南中)
- ★初めて機動隊見学に参加しました。機動隊って警察官？バスや銀行など立てもり事件で活躍する人？ぐらいの知識しかなくて申し訳ない気持ちの中での参加でした。任務の為に厳しい訓練や技術を磨き、いつでも出動出来る態勢を整え、規律と団結によって常に高い統制力を持って市民の生活を守る……。見学した小学生が、将来、ぜひ機動隊に入る～と言ってほしいと思いました。(長田南小)
- ★東日本大震災で出動時の写真を見せていただきました。皆さんの過酷な活動に、とても感銘を受けました。(長田西小)
- ★とても暑い中なのに、隊員さんたちのキビキビした話しぶり、行動は爽やかさを感じました。私たちに見えない所での訓練や活躍によって、私たちの暮らしが守られているのだな、と思いました。外での見学で、子どもたちがとても楽しそうに車両に乗ったり、隊員さんたちと話したりしているのが印象に残りました。(川原小)
- ★初めて機動隊見学に参加しました。なんとなく、機動隊は凶悪事件のみ出動するイメージがありましたが、東日本大震災等、長期に渡り出動し、懸命な捜索活動が行われた様子を聞き、また、そのために日頃の訓練の様子も見ることもでき、感動と安心感を覚えました。命をかけ国民を守る活動、想像以上に大変なことだと思いますが、そんなことを感じさせるまえに、機動隊員の方々が、それぞれの任務に誇りと、使命をもって日々取り組んでいらっしゃることを学べ本当に参加させていただき良かったです。(長田東小)
- ★去年に引き続き2回目の見学でした。当日、急遽事件が起こり機動隊出動命令があったため、見学の内容が変わったというのを聞くと、私たちの生活を守るために働いてくださっているんだということがリアルに実感できました。後でニュースを見て、この事件かなと思ったりしました。命懸けで私たちを守ってくれてありがとうございます。(長田西中)

### 【子供達からの感想も寄せられました】

- ★特殊車両に乗せてもらって楽しかった(長田南小4年)
- ★珍しい特殊車両に乗れて楽しかった。(長田西小3年)  
機動隊の人は大変な仕事をしているんだなあと思った。
- ★剣道や柔道もやっているのは知らなかったです。  
乗り物がカッコよかったです。(長田西小2年)
- ★いろいろな車に乗れて楽しかった(小1)
- ★特殊車両の種類がたくさんあり、機能もたくさんあり、びっくりしました。その特殊車両の乗せてもらい、うれしかったです。
- ★初めて機動隊見学をさせていただきました。(長田東小6年)
- ★警察の中でも、いろいろな仕事があるということが分かりました。  
テレビとかで見たことがない訓練とか見ることができてよかったです。  
(長田西中3年女子)

【担当 長田西中】



### 3校合同講演会

## 子供の心を育むコミュニケーション

～親子のより良いコミュニケーションの方法～

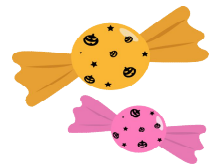
平成26年10月4日 川原小体育館

講師 谷澤久美子先生

#### ☆プロフィール☆

特定非営利活動法人アサーティブジャパン認定講師。

静岡県生まれ。静岡市在住。現在は主に中学校でスクールカウンセラーとして活動し小学生、中学生、その保護者、教師の悩みに寄り添う。地元で子育て講座、思春期の子供を持つ保護者のための講座、学校内での子供を対象としたコミュニケーション講座、教師のためのコミュニケーション研修も担当する。現在、学校での現場をもちながら、アサーティブジャパンの認定講師としても活躍中。



- コミュニケーションとは、「伝える」「聴く」のキャッチボール。よりよいコミュニケーションのために、「聴く」力を磨いていこう。
- いろいろな感情が湧いてくるその子自身にOKをだしてあげる。感情を表す言葉を使えるように導いてあげる。「だめなところも、失敗することもあるけど、自分はOK!この自分で今できることをやっいていこう。」
- 凹ませトーク・・・凹ませトークをふることは「あなたが悪い」「あなたはダメだ」という言葉を投げつけることになる。
- 親も、自分自身への共感、自分自身のガス抜きを忘れず、完璧な親じゃなくて「ぼちぼちな親」をめざそう!

#### 参加者の方の感想

- ☆我が家は子供達が中高生なので、なかなか一緒にいる時間も少なくコミュニケーション不足を感じていました。これからは聴くことを意識的に増やして、できるだけ凹ませトークを言わないように頑張っています。
- ☆コミュニケーションで大切なのは、相手の気持ち・感情を聴くこと、そして共感して聴くこと。これは、親子の間だけでなく、夫婦・友人・職場など多くの場所でも必要なことであることを気づかせてくれました。
- ☆谷澤先生の、優しく語りかけてくださる言葉が心地よかったです。1番反省したのは、凹ませトークが日常大半だったかなあって思いました。もっと私自身が前向きな楽しみトークができるように心の余裕が欲しいなと思いました。
- ☆子供の心の声を聴くことを磨いていけたらと思います。
- ☆普段何気なく使っていた言葉で子供を凹ませていたのかな?と反省し、先生に教えて頂いたスキルを実践してよりよいコミュニケーションをとれるように生かしたいと思います。